

◎水道について

Q. 市の水道整備計画はどのようになっていますか。

A. 下水道整備の際に、上水道の配水管もかなりの部分を更新しています。しかし、地震により破損することも考えられますので、これへの対応も考えています。

Q. 小佐地域の水道事業の状況を教えてください。

A. 昨年3月、安全な水を確保するためにボーリング調査を実施しましたが、必要水量が出ませんでした。今後、事業の認可変更を行い、整備に向けて事業を推進していきます。

◎タウンミーティングについて

Q. タウンミーティングの趣旨は何ですか。

A. 合併で市域が広がったことに伴い、以前よりも皆さんの意見の集約が難しくなりました。このため、今回のタウンミーティングを実施しました。

Q. 今回のタウンミーティングで説明責任を果たしたと思わないでください。

A. 全市民が参加しているわけではありませんし、当然、今後も説明責

任はあります。

Q. 「元氣な養父市」を発信できるような前向きな説明もしてほしかった。(希望が持てない)

A. 養父市の現状を説明するために数値によつて説明させてもらいました。すべてを理解してもらうことは難しいと思いますが、今後も前向きな問題も含めて説明していきます。

Q. 市民の協力をお願いします」とよく言われますが、具体的に何を協力すればいいのですか。

A. 例えば、医師不足に対する医師を紹介していただいたり、企業誘致に関する情報の提供、各種の行政委員への就任などがあります。協力していただきたいことは、今後も協議をして周知します。

Q. 市民と情報を共有するという意味でタウンミーティングは意義があると思いますが、参加者が少なすぎます。

A. 1人でも多くの皆さんに養父市の状況を知ってもらうためにタウンミーティング開催しました。今後、実施する場合は、開催の周知をさらにしていきます。

Q. タウンミーティングは定期的に実施してほしいです。また、行政だけを責めるのではなく、行政、議会、市民が協力していくことが大切だと

思います。

A. タウンミーティングは、今後も時期を見て実施する必要があると考えています。

(その他の意見)

・ 今回のタウンミーティングは市民と行政の距離が近くなったようで大変良いことだと思います。
・ 座談会方式など、意見が出やすいように工夫をしてください。

◎その他の質問・意見

Q. 有害鳥獣対策にかかる補助金を増額してください。

A. できるだけ減額しないように努力します。

Q. 防犯グループの進め方について、連絡会の開催を望みます。

A. 持ち帰って検討します。

Q. 道の駅ようかの運営方法は？

A. PFI（公共施設の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法）を採用しました。これは、市として一時的な大金を必要としない負担の少ない運営方法で、民間の活力を生かしながら事業展開していきます。

Q. 従来の「まちぐるみ健診」に代え、今年から始めた「市民ドック」

の受診状況などを教えてください。

A. より利用しやすく内容を充実させた「市民ドック」は、従来に比べて受診時間が短縮されたことにより非常に好評です。

Q. 総合計画の進捗管理はどのように行っていますか。

A. 基本計画に基づき市政運営を行っています。

Q. NHKの番組で、工事にかかる談合の報道がありました。養父市でも行われているのですか。

A. 談合は決して許されません。市に捜査権はありませんが、独自調査では該当する事例は発見できませんでした。仮に談合があった場合には、兵庫県府の指導を受けながら厳格に対処します。

Q. 市の現状を把握するため、職員による各戸訪問をしてはどうでしょうか。

A. 各地域の振興については、各公民館と地域局まちづくり課の連携により進めていきます。各地区担当職員の配置は、今後検討します。

Q. フルーツの里について、経営方針が不明瞭だと思います。(低価格にこだわりすぎでは?)

A. 地域の資源利用が大切です。生産されたものを地域の経済活動にどう生かしていくのが課題ですが、